

今日のトピック

財政再建の本格化でブラジルレアルは持ち直しへ

ポイント1 レアルは13年ぶりの安値

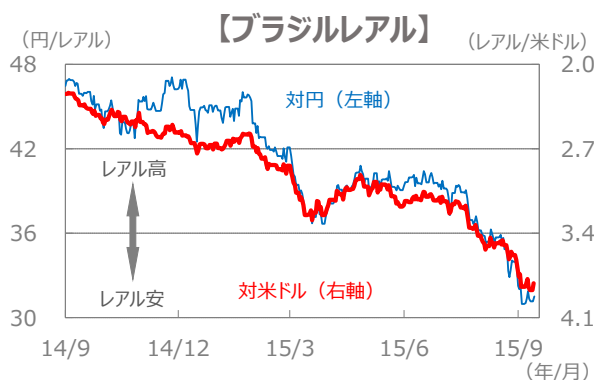
財政再建の遅れを不安視

- ブラジルレアルは、9月に入り財政不安や格下げから下落傾向を強め、対円では一時1レアル = 30円台と、2002年9月以来のレアル安水準をつきました。9月14日時点では同31.5円と、昨年末から▲30%の下落率になっています。
- 政府財政に対する不安の背景は、景気低迷の中で財政再建が進まないことです。8月末に政府が議会に提出した予算案によると、2016年の財政収支（利払いを除く）は、3年連続の赤字とされました。これを受け、大手格付け会社S&Pはブラジル国債の格付けをBB+に引き下げ、非投資適格級としました。

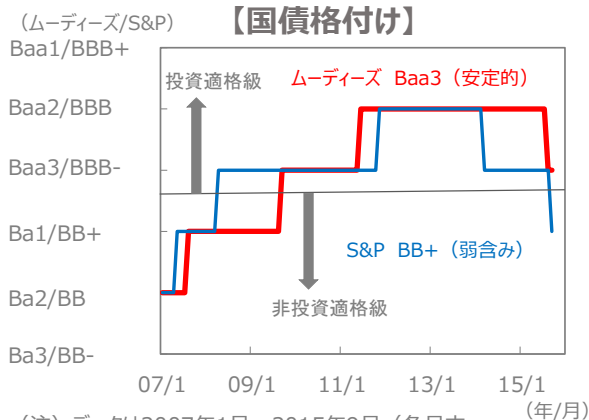
ポイント2 レアルは足元で持ち直し

来年度予算案見直しが好材料に

- 14日、レアルは対円で+1.1%上昇しました。政府が予算案の見直しを発表し、歳出削減と増税策の拡充により財政収支目標を当初のGDP比0.5%の赤字から0.7%の黒字に引き上げたことが好感されました。
- 抜本的な財政緊縮策がさらなる格下げ回避に必要との見方が広がっていましたが、予算案の見直し発表により、不安心理が和らぎました。



【国債格付け】



今後の展開 財政再建がようやく本格化、政府と議会の協力がカギ

- 予算案の見直しに対し、野党は一部の増税案に反対しながらも、審議には前向きに応じる姿勢を示しました。S&Pが投資適格級を外したことで、政府と議会の財政再建の取り組みが本格化しそうです。
- ムーディーズは、8月にBaa3（BBB-に相当）に引き下げて以降、見通しを「安定的」とし、投資適格級を維持しています。政府・議会が財政再建を進めれば、レアルのサポート要因になると思われます。

ここもチェック! 2015年 9月10日 S&Pがブラジル国債を「投機的」に格下げ
2015年 9月 3日 ブラジル中銀、利上げを停止

■ 当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■ 当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■ 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■ 当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■ 当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■ 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■ 当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。